

議会の手帖 204

～ いつも市民の一番身近に ・ いぬやま市議会だより ～

2024.2.1



11月の定例議会 で犬山市の
こんなことが決まりました。

11月定例議会

(22日間・11月29日～12月20日)は

○市長提出議案……………20件

が提出されました。

すべての議案名と結果は、
犬山市議会ホームページを
ご覧ください。

今号では
この中から
3つを選びました

第106号議案 令和5年度犬山市一般会計補正予算(第7号)

Pick up 1

戸籍仮名登録に対応するため
システム改修をします。

【内容】

総務省及び法務省からの通知により、戸籍仮名登録システム等を改修し、氏名にふりがなを記載する機能を追加します。

こんな質問が出ました。

Q 目的と効果は。

A 現在、氏名に外字がある場合のデータベース化が複雑であることや、金融機関が氏名のふりがなを本人確認に利用する場合に、複数の仮名を利用して別人を装うなどの懸念がありました。氏名のふりがなを統一することで、ふりがなが個人を特定する情報であることを明確にし、検索及び管理の効率を向上させます。またふりがなを本人確認資料に記載し、不正防止を図ります。



戸籍等交付申請書

Q どのような作業を想定しているか。

A 犬山市に本籍がある方に、市が保有する氏名のふりがなが正しいか確認するための通知を、令和7年前半に送付する想定です。

(仮称)新橋爪・五郎丸子ども未来園建築工事の契約を締結します。

Pick up 2

【内容】
令和5年11月24日に入札を執行し、受注者が決定しました。

(受注者) 矢作建設工業・シンエイライフ特定建設工事共同企業体
(契約金額) 金13億350万円
※工事その1・その2合算

第120号議案 工事契約の締結について(仮称) 新橋爪・五郎丸子ども未来園建築工事(その1)

第121号議案 工事契約の締結について(仮称) 新橋爪・五郎丸子ども未来園建築工事(その2)

こんな質問が出ました。

Q 契約を2つに分けた理由は。

A 園舎のZEB化に伴い、環境省が所管する二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金を申請するため、交付決定前に契約を締結することができません。



新子ども未来園のイメージ

補助金の交付決定まで本体工事を遅らせることを避けるため、本体工事とZEB関連工事を分けて契約します。

国の財源を活用し、小中学校の給食費を無料化します。

Pick up 3

【内容】
現在実施している小学校6年生、中学校3年生、第3子以降の児童生徒に加え、物価高騰に直面する子育て世帯の経済的負担を軽減するため、全小中学生の令和6年1月から3月までの給食費を無料にします。

第122号議案 令和5年度犬山市一般会計補正予算(第9号)

こんな質問が出ました。

Q 「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用するとのことだが、この補助金の活用方法として、国から他にどのような推奨事業が示されていたのか。



給食の様子

A 推奨事業メニューは多岐に渡りますが、広く市民に行き渡る事業、子育て世帯への支援につながる事業というポイントで、この事業への活用を決定しました。

Q 犬山市の児童虐待防止に向けた今後の取組について伺う。

A 児童福祉法の改正により、令和6年4月から、市町村としての相談体制の強化を図るため、こども家庭センターを設置することが努力義務とされました。こども家庭センターは児童福祉機能である子ども家庭総合支援拠点と、母子保健機能である子育て世代包括支援センター双方の機能や役割を維持しながら、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能となります。また、新たな取り組みとして、行政サービスによる支援が必要な妊産婦、子育て世帯、子どもに確実に支援を届けるためサポートプランを作成し、支援の提案、実施とその後



の管理を行っていくこととなります。以上のことから、国の趣旨及び目的を踏まえ、犬山市においても、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援等の実施と、児童虐待防止に向けた更なる支援の充実と強化を図っていくため、こども家庭センターの令和6年度設置に向け、現在、関係部署と協議を進めているところで

教育

児童虐待防止について

公明クラブ 諏訪 毅

Q 文化庁の文化芸術による子ども育成推進事業を市は現状どのように活用し、今後はどのような活用をしていくのか。

A これまでに、計6校が活用しており、本年度は2校活用する予定です。現在は、学校の実情に合わせ、学校の実情に合わせて芸術鑑賞会を実施していますが、参加・創造型の文化庁事業も選択肢の一つとし、より充実した内容にすべく支援してまいります。

Q 文化芸術の多様な創造性を活かして産業振興や地域活性化に取り組む自治体間の連携・交流を行う「創造都市ネットワーク日本」という組織があり近隣では、名古屋、瀬戸市、可児市などが加盟している。この組織に加盟する



ことで、文化芸術政策を先進的に取り組む自治体との交流や情報共有などが期待できる。当市も加盟して、芸術文化振興に一層力を入れてはどうか。

A 創造都市ネットワーク日本に加盟することで、全国の先進自治体の多様な取組・アイデアを共有できます。当市が文化芸術を通して創造するまちづくりの夢や可能性について参考にすべき取組も多々あり、当市にとって大きなメリットがある為、今後加盟も視野に入れ、手続き等必要な調査研究をしていきます。

教育

芸術文化を通じた地域振興について

創大会 増田 修治

令和5年請願第4号 討論

賛成	ピアンキ 恵子 議員	小学校・中学校に子どもを通わせている保護者からの「安心して通える学校に」という思いを、議会として重く受け止め、行政へ届けるべきである。
----	------------	---

令和5年請願第5・6号 討論

賛成	岡 覚 議員	国や市も努力しているからというのは、反対理由にならない。請願者の趣旨を理解し、皆が同じ方向を向いて努力することが大切である。
反対	増田 修治 議員	先般の報道では、国も改善に向け動き出している。また犬山市は他の自治体には無い独自の施策を多数行っており、積極的に保育環境の質の向上に取り組んでいる。

令和5年請願第7号 討論

賛成	小川 隆広 議員	マイナンバーカードと健康保険証の一本化は様々な問題を置き去りにして強行的に決められた制度であり、デジタル弱者を置き去りにしていく危険性があるため、立ち止まって考える必要がある。
反対	小川 清美 議員	進展するデジタル社会に向け、マイナンバーカードは普及すべきである。カードの取得は任意であり、持たない方への配慮もされている。生じているトラブルも過渡期の一時的なものとする。



➡ 請願はこちら



➡ すべての賛否一覧はこちら

令和5年11月定例議会 議案の賛否 (全員一致以外) ○:賛成 ×:反対 議:議長 除:除斥 退:退席 欠:欠席

議案番号	件名	議決結果	日本共産党 犬山市議団		公明クラブ		創大会					清風会			ピアンキ 恵子					
			小川 隆広	岡 覚	岡村 千里	島田 亜紀	諏訪 毅	増田 修治	光 清	小川 清美	畑 竜介	玉置 幸哉	柴田 浩行	大沢 秀教		鈴木 伸太郎	沼 靖子	久世 高裕	柴山 一生	丸山 幸治
請 願 第 4 号	犬山市内小学校教員による強制わいせつ行為に関し、犬山市および教育委員会への改善・対応を求める請願	不採択	退	退	退	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○
請 願 第 5 号	国に保育士配置基準改善を求める意見書の提出を求める請願書	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議	×	○	○	○	×	○	○
請 願 第 6 号	安心して子育てできる犬山を目指し、75年ぶりの保育士配置基準改善等を求める請願書	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議	×	○	○	×	○	○	○
請 願 第 7 号	「健康保険証を廃止しないことを求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○

11月定例議会では、20件の提出議案を全員一致で可決及び同意しました。また、4件の請願で賛成討論と反対討論がありました。討論の内容は左記のとおりです。

議会の主な議案等にチェック

提出議案に賛成・反対しました ✓

教育 通学路について



公明クラブ 島田 亜紀

Q 登下校の見守りでは学校によっても事情が違うので、遠い所で3キロある城東小学校を例に、現在の見守り人員の現状と今後の募集について伺う。

A 登校時、PTAの保護者が交替で交通指導を担っているのと、交通指導員1名と通学ボランティアの方々が活動していただいています。現在、通学ボランティア登録者は67名ですが、高齢化で活動できる方は減少傾向です。今年度、保護者に募集案内をし、1名の登録があり、更に年明けには地域の皆さんにチラシを配布し、募集する予定です。

補修してもらっている。現場を一番分かっている通学見守りの交通指導員、通学ボランティアの方が点検に加わり、問題点を意見交換するようにしてはどうか。

A 通学路の安全点検は、教員やPTAで実施しており、通学ボランティアは安全点検に参加していませんが、危険箇所の連絡があれば対応しています。気になることがあれば連絡してもらおうよう、改めて案内していきます。

Q 4月から小中学校の登校の見守りをしているが、側溝のふたのひび割れ、道路の穴など危険な箇所をいくつも見つけ、市に



教育 スポーツ施設の設備充実化について



創犬会 畑 竜介

Q 犬山市武道館・犬山市体育センターなど老朽化が進む施設もあり、特に夏場などは屋内も驚異的な暑さで、とても運動ができるような状態にない施設もある。しかし、空調整備を直ぐにできない事は理解しているが、将来的には整備すべきと考える。市として、体育施設の現状をどのように考えているのか。

A いずれの施設も老朽化が進み、計画的な修繕や改修が必要となっています。近年の真夏の猛暑に対して、施設の熱中症対策の必要性は重々認識しています。しかし、冷房機器の整備については、施設の特長から断熱工事などにも必要になり、設置工事費用や費用対効果の面から、現時点で空調機器の

Q 来年の夏も猛暑になることが想定される。市民が快適にスポーツをできる様、設備等環境の改善に少しでも取り組みめないのか改めて伺う。

A 来年度に向け、スポーツクーラーの設置など、可能な対策を速やかに実施してまいりたいと考えており、市民の皆さまが、施設を安心、安全、快適に利用いただけるよう、施設環境の整備に努めてまいります。



Q 社会福祉協議会の市役所西庁舎移転の可能性について伺う。福祉課と社会福祉協議会が同じ敷地内にあるとどんなメリットがあるかという、稲沢市は、市役所内で福祉課と社会福祉協議会が隣同士にある。令和5年11月5日に稲沢市が行った「稲沢市における重層の取組について」の講演の中で、重層の主要5事業すべてに社会福祉協議会が携わると言っている。重層とは「重層的支援体制整備事業計画」を略して言っている。今後高齢者が増えていく中、市役所の敷地内にあることで、社会福祉協議会との協力体制で、市民サービスの向上、地域の対応力の強化に必ずつながると思うが、西庁舎への移転は可能か。



福祉 社会福祉協議会の西庁舎移転について



ピアンキ 恵子

A 同様の趣旨で今年7月に社会福祉協議会から申し出があり、対応すべく検討を始めているところで、西庁舎の機能を代替できるスペースなどが他に確保できるか、改装や移転にかかる費用、運営などについて話し合いを進めています。今後は課題や条件が整理された後、具体的な移転計画の準備を進めていくことになっています。

環境 木曾川うかいについて



創犬会 幸哉 玉置

Q 木曾川うかいにおいて船頭の育成は重要である。以前から若手農業者を担い手として国の交付金を活用するなど、育成に努めてきたと認識するが、これまでの状況はどうか。

A 犬山農芸に所属する若手農業者が担い手となり、主にうかい本番で実際に操船しながら、ベテラン船頭から指導を受ける形と、オフシーズンに訓練のみ実施する形で育成事業を進めてきました。

Q 今年のかいで観覧船の船頭が足らずに船を出せず予約を断ったと聞いたがその理由を聞きたい。

A 鴨舟の船頭はある程度人員は整ってききましたが、観覧船の船頭は高齢化による船頭の離職が多く新たな担い手がおらず、令和4年から船頭不足で船


Q 鴨舟の船頭はある程度人員は整ってききましたが、観覧船の船頭は高齢化による船頭の離職が多く新たな担い手がおらず、令和4年から船頭不足で船



一般質問

教育

「小牧・長久手の戦い」
今後の取組について



創犬会 小川 清美


Q NHK大河ドラマでは、家康・秀吉の直接対決「小牧長久手の戦い」が描かれ、犬山城、羽黒城、楽田城が脚光を浴び、世の中にこの史実を知らしめ、関ヶ原に匹敵するよう育てていく機運が高まった。歴史的な位置づけを確かなものとするために今後の取組をどう進めていくのか伺う。

A 真の天下分け目の一戦を定説として浸透させるためには、引き続き認知度の向上に努めると共に、学術的及び歴史的検証を深めていくことが大切です。小牧市との学芸員同士の交流・連携を更に密にしていく予定ですし、来年度の市民総合大学もこの戦いを調査・研究している専門家による連続講座を計画中です。また、



環境 経済

イノシシ対策について



日本共産党 犬山市議員 小川 隆広

Q 近年の獣害やイノシシの捕獲の状況はどうか。

A 獣害による被害は、主に山際の農地で確認されており、今井、楽田、池野、栗栖地区の順に多く確認されています。市内のイノシシの捕獲数は、令和2年度は203頭、令和3年度は218頭、令和4年度は275頭、今年11月末時点において228頭で、昨年同時期と比較して12頭増えており、近年増加傾向になっています。

Q イノシシとの棲み分けのために防護柵の設置ができませんか。

A 当市では、犬山市鳥獣害防止総合対策協議会が実施する鳥獣害防止柵等設置補助金の制度により、個人や複数人で協力するなどして、個別の農地を

防衛するために設ける柵の設置を支援しています。市の施工により、里山との境に大規模な柵を設置することについては、地元や土地所有者との調整、設置場所の優先順位、費用対効果、維持管理等の様々な検討が必要となり、現在のところは考えていません。農作物被害を減らす三大対策と言われる取組を今後も継続し、地域住民への周知を図るとともに、今後も必要な予算を適切に確保できるように努めてまいります。



福祉 健康

運動による介護予防について



創犬会 光清 毅

Q 今後の介護予防の運動事業を進めるにあたっての課題についてどのように考えているのか。

A フレイル予備軍の可能性のある方に講座や教室へ参加していただくことや、地域での活動をサポートする担い手の確保が課題と考えます。

Q 方を紹介しています。現在、市内で運動を通じて健康づくりに取り組んでいる個人、団体等を「健康づくりサポーター」として組織し、情報共有、研修等を実施して、地域での運動事業の一翼を担ってもらうことを提案するが、市の考えは。

A まずは、地域において運動を自主的にしている団体と運動をしたい人とのマッチングを図れるよう、連携のあり方について研究していきます。



経営

市内の傷んだ立て看板の扱いについて



丸山 幸治

Q 市内に立て看板が毎年新設されるが撤去されないが増える一方。同じ場所にくつもあふれる。視界を狭めたり、小さい子が看板の陰に入ると危険なものもある。要望に沿って看板を設置することとは大切だが、新設と並行して古い物の効果を検討し、有効期限を定めるなど撤去していく事も必要。市はどう管理しているか。

A 平成29年度からは全市政取組として、毎年11月を看板等点検強化月間とし、公共施設案内等看板台帳の作成を推奨するとともに、点検時におけるチェック項目を例示し、各所管課において看板内容の確認や劣化状況等を確認点検し、必要に応じた修理等を行っています。しか



Q 傷んだ看板の撤去をどう進めていくのか。

A 担当課が把握しきれないものなどが傷んだまま放置となっている場合も想定されます。そのような看板を発見された場合、まずは市役所にご連絡をいただければ修理や撤去・更新等の対応を行なっています。

一般質問

環境 経済

商業集積ラインの路線での沿道の活性化について



創犬会 大沢 秀教

Q 商業集積ラインと位置付けた幹線へ民間事業者が進出することで活性化が進むものだが、今年度の各路線の沿道への商業集積の状況はどうか。

A 市内の5路線の商業集積ラインのうち、現状ではインフラが整備されている一宮犬山線沿いに出店いただけるよう、不動産事業者等を通じて飲食事業者等呼びかけを行っています。現在も複数の事業者から出店の相談を受けており、ほぼ埋まりつつある状況です。

Q 来年度、またそれ以降に向けて、沿道のにぎわいづくりからの活性化促進について、市長の積極的な思いがあると思うがお聞きしたい。



A 魅力ある商業施設の立地は、重要な施策として進めていかなければいけないと強く意識しています。都市計画マスタープランに、一宮犬山線沿いに商業施設を立地すると位置づけをし、様々な取組をしてきた結果だと考えています。他の4路線も含め、さらに商業施設の立地を進めていきます。今年度中に橋爪・五郎丸地区の新しいまちづくりの方向性を決めると述べてきましたが、その際には、市道名古屋犬山線のにぎわいと活性化について考えを示します。

環境 経済

持続可能な観光まちづくりについて



創犬会 柴田 浩行

Q 観光客の増加により城下町周辺では交通渋滞など、地元住民の暮らしに支障が出ている。誘客、回遊性の向上、資源確保を図りながら、市民生活を守るためには対策が必要である。観光駐車場料金の見直しにより、渋滞緩和などの対策と資源確保につなげていくべきだと提案する。

A 「持続可能な観光まちづくり」とは、「住む人も、来る人も心地よく、常に発展し続けるまち」であり、「来ていただくみなさんには楽しんでいただき、住むみなさんが喜んでもらえる犬山づくり」です。そのために、観光客と住民のみなさんとの共存と調和を図ることが重要になります。状況を改善するために、駐車場使用料と犬山城登閣料の見直し、駐車場の導入について、同時に検討を進めていきます。



Q 突風について市民からの問い合わせ内容について、その対応はどうされたか。

A ごみを排出した本人、またはその土地の管理者にしていたことが原則となることから、私有地に飛んできたごみについては、市のごみ出しルールで処理をしていただくようお願いしました。

Q 市として収集運搬することにご踏み切った経緯は。

A ごみが広範囲に及んでいたこと、飛散物の所有者を特定することが難しいことや高齢でごみの搬出が困難、通常回収可能な大きさを超えたものや、都市美化センターで処理のできない瓦など適正処理困難物が多いことなどを総合的に勘案し、災害廃棄物に類するものとして、市が運搬を実施する



環境 経済

「羽黒の突風」の経験から、災害ごみの基準を考えたい



清風会 沼 靖子

Q 突風について市民からの問い合わせ内容について、その対応はどうされたか。

A ごみを排出した本人、またはその土地の管理者にしていたことが原則となることから、私有地に飛んできたごみについては、市のごみ出しルールで処理をしていただくようお願いしました。

Q 市として収集運搬することにご踏み切った経緯は。

A ごみが広範囲に及んでいたこと、飛散物の所有者を特定することが難しいことや高齢でごみの搬出が困難、通常回収可能な大きさを超えたものや、都市美化センターで処理のできない瓦など適正処理困難物が多いことなどを総合的に勘案し、災害廃棄物に類するものとして、市が運搬を実施する

Q 「羽黒の突風」で市民から寄せられた情報を蓄積し、災害ごみについて、きちんとした制度づくりと、明確な基準を設定すべきでは。

A 制度や明確な基準を設定することは、判断すべき事情が様々であり難しいと考えます。災害の廃棄物でお困りの際は、市役所にお問い合わせくださいということを、しっかりと周知させて頂きます。

教育

教育版マインクラフトを学校教育に!



清風会 久世 高裕

Q ある小学校でマインクラフトというゲームの中で架空の小学校を作り、海外の児童と交流するという素晴らしい取組が行われた。しかし、一部の子どもがパソコンやスマホを持っておらず、学校のタブレット端末にもインストールしてはいけないというところで途中で頓挫してしまっ。マインクラフトには教育活動に特化した教育版があり、総務省や文部科学省もプログラミング的思考学習の教材として推奨している。学校や教育委員会はこうした子ども達の主体的な活動を応援すべきではないか。


AQ 市長の考えは。子ども達や学びの可能性を狭めるようなことは絶対にあってはなりません。社会の変化に合わせて柔軟かつ前向きな対応が必要で。マインクラフトと聞くだけで子ども達の熱量が上がるため、それを教育に繋げたいと考えられています。私としても、総合教育会議でテーマに取り上げ、教育委員会の皆さんと議論を深めていきます。



一般質問

教育

公設・公営と民設・民営の優位性、子ども未来園の名



日本共産党
犬山市議員
岡 寛

Q 園建設やZEBの補助金についての優位性は。

A 民間事業者でもZEBの補助金は活用でき、どちらかに優位性があるというものではないという認識です。

Q 現実には公設公営は100%ZEBで建物ができ、民設民営は環境に配慮したものにとどまる。次に保育士確保について、私は自治体が情熱を注ぎ、お金も出すんだと本気で取り組めば、民間よりも公の方が取り組みやすいと思うが、どうか。

A 公立13園と私立2園でどちらが優位という認識ではなく、同等です。保育士の配置基準も同じであり、各園長出席の園長会も毎月1回開催しています。最後に市長に再質問。以

整都備市

頭首工管理橋の交通規制について



清風会
柴山 一生


Q 頭首工管理橋を鵜沼側へ渡ると堤防上に頭首工建設の案内看板があり、もう少し上流に建設する案もあったが、犬山城の美しい情景を水面に映すため今の場所に決定したと書いてある。この城下の水面周辺は大変風光明媚な場所である。歩いたり走ったりして周遊するのが一つの犬山の観光スポットになると思うが、一つ問題がある。頭首工管理橋は自転車に乗って渡ることができない。私はこの4年ばかり電動アシスト付き自転車です。市内を回っているが、ここに来ると危険な車道を走らないといけない。管理橋は自転車を降りなければいけないからだ。扶桑の木曾川沿いの遊歩道も徐行してなら自転車に乗車

A 犬山頭首工管理橋は、犬山市と各務原市が東海農政局に多目的使用申請を行い、歩行者専用道として自転車は下車通行の条件で使用許可を受けています。今後、多目的使用について各務原市と共に検討していきます。



環境経済

楽田の「二ノ宮みかん」、歴史ある農産物を遺そう！



清風会
鈴木伸太郎

Q 楽田で栽培が盛んであった二ノ宮みかんだが、栽培面積が減っている。生産者を訪問しても、ほとんどが高齢者で後継者不足。市として何かできることはないか。


A 市内のみかん栽培は、最盛期は15ヘクタールあったとされますが、農林業センサス2020では1ヘクタールまで減少しています。犬山市総合計画、市長マニフェストでも「農産物のブランド化」を挙げており、今後、関係機関と連携協力しながらしっかりと腰を据えて取り組んでいきます。具体的には、みかん畑・農家・後継者の有無などの調査、みかん栽培に興味を持つ者同士のネットワーキング、技術研修、6次産業化人材の育成などの実

施を考えています。また、栽培面積減の対策として、生産拡大を支援する助成制度の創設を検討しています。手始めとして、2月中にみかん農家と県やJA等を集めた座談会を開催し、今後の二ノ宮みかんの在り方を考えていく場を設けるなど、できる事から着手していきます。



教育

北小学校区に児童センターを！



日本共産党
犬山市議員
岡村 千里

Q 2020年に福祉会館とともに中央児童館が取り壊され、現在北小学校区には児童センターがない状況だ。子どもたちは、他の児童センターを利用していいのか。また、活動団体が拠点を失い、活動をやめてしまったことなどは把握しているか。

A 把握している人数では、今年度西児童センターに6人程度、城東児童センターに9人程度の利用がありました。また、西児童センターの移動児童館「子どもクラブ」を月一回北児童クラブ室にて実施しております。活動団体の拠点は、利用場所等をいくつか提案し、何度も協議を重ね、現在の状況に至っていると認識しています。

Q 北小学校区に子どもたちが安心して遊べる児童センターは必要と考える。学区を超えて遊びに行ってもよいというのは、子どもたちのことを無視した考えだ。既存の施設の活用を含め検討すべきではないか。

A 教育委員会としても「学区を越えてはいけない」などの基準は定めていないことから市内の児童センターを利用していただけます。小学校の校庭も放課後十分に遊ぶことはできますので、現在の体制で対応していきます。



常任委員会行政視察報告

下記の日程で各常任委員会が行政視察を行いましたので、ご報告します。

総務委員会

日程 10月2日(月)～3日(火)
視察先 岡山県総社市・兵庫県豊岡市

今年度の重点テーマ「多文化共生」について、犬山市の状況を把握した上で、岡山県総社市と兵庫県豊岡市の先進事例を調査しました。総社市では、外国人防災リーダー養成研修、外国人市民と日本人とのコミュニケーションの場づくり、医療・防災支援の連携や地元企業との情報共有など、共生のための取り組みを学びました。

また、豊岡市では、市内在住の外国人への日本語教育現場を見学、多文化交流サロンなどの居場所づくり、同市の多文化共生推進プランについて説明を受けました。これら調査で得た情報から、すでに取り組んでいる犬山市の多文化共生の取り組みが、一層先進的となるよう提言をまとめ、当局と課題解決に向けた協議を実施しました。



民生文教委員会

日程 10月3日(火)～4日(水)
視察先 青森県藤崎町・青森県十和田市

民生文教委員が取り組んでいるテーマで、長らく犬山市の課題である、社会福祉協議会の経営改革について学ぶため、青森県藤崎町社会福祉協議会へ視察へ行きました。30年の年月をかけて行った人事考課制度の改訂と、職員一人ひとりの意識改革までの経緯を丁寧の説明頂きました。

また、青森県十和田市では、十和田市立現代美術館を中心として、まち全体にアート作品が点在しており、草間彌生さんなど世界的に著名な芸術家による公園計画、著名な建築家による公共建築物が点在し、世界中からも観光に訪れるまちはです。私たちも、作品に触れ、その芸術作品が持つパワー・メンタリティに圧倒され、感銘を受けました。市民に対する芸術文化を通じての地域振興にも積極的に取り組まれており、当局としても取り組むべき課題が見えました。



建設経済委員会

日程 10月3日(火)～4日(水)
視察先 静岡県熱海市・東京都墨田区

静岡県熱海市の観光V字回復と東京都墨田区の隅田川河川空間について視察しました。熱海市は温泉、海などリゾート地としての魅力や、特産品やグルメなど、観光客が楽しめる要素をSNS等で発信し、観光客を呼び込んでいました。また、地元住民が熱海市の魅力を再発見し、自信を持ってアピールすることが、観光の回復につながった要素です。しかし、熱海市は高齢化率49%で、様々な業種での人手不足が課題でした。

隅田川の河川空間は、水上バスの運行が観光コンテンツの一つとなっています。隅田川沿いは、遊歩道が整備され、散歩やジョギングなどを楽しめます。遊覧船の乗り場や、カフェなども多く存在し、観光客だけでなく、地元の人々にとっても憩いの場として親しまれています。今回の視察を通して得られた成果を、今後の委員会活動に生かしていきます。



犬山市議会広報誌

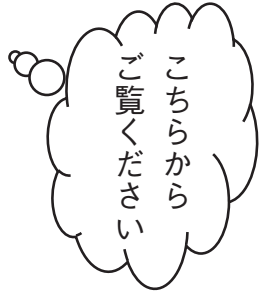
「議会の手帖に関するアンケート」

結果のお知らせ



令和5年11月に実施しました当アンケートにおきましては、市民の皆様の貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございました。

アンケートの結果につきまして、犬山市ホームページに掲載していますので、左記のQRコードからアクセスし、ご覧ください。いただいたご意見をもとに、今後も協議を重ね、より皆様に伝わる紙面づくりに励んでまいります。



【実施期間】 令和5年11月1日(水)～11月30日(木)

【実施方法】 ①市役所本庁ロビー、各出張所に設置する紙アンケート

②グループフォームによる電子アンケート

【周知方法】 議会の手帖、市公式LINE、市議会フェイスブック、市議会インスタグラムで情報発信

【回答数】 586件(紙アンケート)・236件(電子アンケート)・350件



表紙写真を募集します!!

犬山市議会では、より市民に親しみを持ってもらい読んでいただくための取り組みとして、次号の表紙写真の募集をします。

●募集要件

- ・縦撮りを原則とし、圧縮等をしていない高画質画像
- ・データでの提供が可能。
- ・犬山市に関する写真(風景・人物・絵など)かつ、著作権の侵害に該当していないもので未発表のもの(人物を含む場合には本人の承諾を必ず得ること。)
- ・表紙に合わせるための画像の微調整に同意できる。
- ・写真使用料は無償とすることに同意できる。



●応募方法

- ・期限 令和6年3月21日(木)まで
- ・提出先 犬山市議会事務局
- ・方法 住所・氏名・連絡先・写真テーマ名を記入して、写真データを添付しメールで応募
- ・結果 採用された方には犬山市議会事務局より事前に確認の連絡をさせていただきます。



編集後記

市議会広報委員会
沼靖子

11月に実施いたしました議会の手帖アンケートへのご協力、ありがとうございました! 600名近くの皆さんの声をいただきました。エールのこもったコメントは大変嬉しく励みになります。しかし、「興味がない」「届いている事を知らない」といった厳しいお声も頂戴しました。より伝わる紙面づくりから、手に取ってもらえる工夫、まで議会全体で考えてまいります。アンケート受付は終了しましたが、またお声をお聞かせいただけますと幸いです。

広報委員

- 委員長 畑竜介
- 副委員長 玉置幸哉
- 委員 増田修治・小川隆広・島田亜紀・沼靖子

次回2月定例議会 日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1	2
	再開		補正予算			
3	4	5	6	7	8	9
	一般質問		(休会)	一般質問		
10	11	12	13	14	15	16
	議案質疑		全員協議会	委員会		
17	18	19	20	21	22	23
	委員会			最終日		
24	25	26	27	28	29	30

2月定例議会で審議・審査する請願・陳情の受理は2月16日(金)正午までです。

リバーシブルファイリング方法のご紹介♪

議会だよりアンケートの中で、市広報と綴じ方が逆で困るとのご意見をいただきました。広報委員会で検討した結果、一つのリングファイルを両側から使用する「リバーシブルファイリング」方法をご紹介します。ぜひお試しください!



※リングファイルは、各自ご用意ください。

今号の表紙
道家晴規様の撮影された「冬の朝」を使用させていただきました。ありがとうございました。